

最近の調剤医療費（電算処理分）の動向  
平成 24 年 10 月

○ 概要

(1) 平成 24 年 10 月の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は 5,774 億円（伸び率（対前年度同期比、以下同様。）6.2%）で、処方せん 1 枚当たり調剤医療費は 8,261 円（伸び率▲0.6%）であった。（→P.1-2）

調剤医療費の内訳は、技術料が 1,513 億円（伸び率 9.0%）、薬剤料が 4,251 億円（伸び率 5.2%）で、薬剤料のうち、後発医薬品が 437 億円（伸び率 26.3%）であった。（→P.4）

3要素分解 （→P.8-9）	処方せん1枚当たり 薬剤料	処方せん1枚当たり 薬剤料種類数	1種類当たり 投薬日数	1種類1日当たり 薬剤料
実数	5,058 円	2.95 種類	20.4 日	84 円
伸び率（%）	▲2.2	▲0.0	+2.7	▲4.7

(2) 薬剤料の約 85%を占める内服薬（3,554 億円（伸び幅（対前年度同期差、以下同様。）153 億円）を薬効大分類別にみると、21 循環器官用薬が 941 億円（伸び幅▲3 億円）と総額が最高で、11 中枢神経系用薬が伸び幅 49 億円（総額 566 億円）と伸び幅が最高であった。（→P.10）

年齢区分 （→P.10~13）	内服薬 総額 （伸び幅）	総額順（総額）		
		1 位	2 位	3 位
全年齢	3,554 億円 （+153 億円）	21 循環器官用薬 （941 億円）	11 中枢神経系用薬 （566 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（436 億円）
0 歳以上 5 歳未満	51.5 億円 （+0.82 億円）	44 アレルギー用薬 （20.1 億円）	61 抗生物質製剤 （15.4 億円）	22 呼吸器官用薬 （8.5 億円）
5 歳以上 75 歳未満	2,251 億円 （+73 億円）	21 循環器官用薬 （588 億円）	11 中枢神経系用薬 （364 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（295 億円）
75 歳以上	1,252 億円 （+79 億円）	21 循環器官用薬 （352 億円）	11 中枢神経系用薬 （202 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（141 億円）

(3) 処方せん 1 枚当たり調剤医療費を都道府県別にみると、全国では 8,261 円（伸び率▲0.6%）で石川県（10,618 円（伸び率▲0.9%））が最高で、佐賀県（7,020 円（伸び率+0.0%））が最低であった。

また、伸び率は沖縄県（伸び率 1.5%）が最高で、奈良県（伸び率▲2.4%）が最低であった。（→P.25-26）

【後発医薬品薬剤料】437 億円（伸び率：26.3%、伸び幅 91 億円）（→P.34）

【後発医薬品割合】（→P.33）

	後発医薬品割合	伸び幅
数量ベース	28.9%	+5.5%
薬剤料ベース	10.3%	+1.7%
（後発品調剤率 <sup>注</sup> ）	53.1%	+4.4%

注）全処方せん枚数のうち後発医薬品を調剤した処方せん枚数の割合

【後発医薬品 年齢階級別】（→P.34~35）

	全体	最高	最低
後発医薬品薬剤料の伸び率	+26.3%	+33.4% （75 歳以上）	+11.0% （0 歳以上 5 歳未満）
後発医薬品割合（薬剤料ベース）	10.3%	11.3% （65 歳以上 70 歳未満）	6.9% （5 歳以上 10 歳未満）

【後発医薬品（内服薬） 薬効分類別】（→P.36~37）

	全体	最高（薬効大分類）
総額	390 億円	102 億円（21 循環器官用薬）
総額の伸び幅	+87 億円	+28 億円（21 循環器官用薬）
総額の伸び率	+28.5%	+129.1%（11 中枢神経系用薬）

年齢区分 （→P.36~40）	内服薬 総額 （伸び幅）	総額順（総額）		
		1 位	2 位	3 位
全年齢	390 億円 （+87 億円）	21 循環器官用薬 （102 億円）	23 消化器官用薬 （77 億円）	11 中枢神経系用薬 （39 億円）
0 歳以上 5 歳未満	4.4 億円 （+0.42 億円）	22 呼吸器官用薬 （1.60 億円）	61 抗生物質製剤 （1.12 億円）	44 アレルギー用薬 （0.88 億円）
5 歳以上 75 歳未満	243 億円 （+48 億円）	21 循環器官用薬 （67 億円）	23 消化器官用薬 （44 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（28 億円）
75 歳以上	142 億円 （+38 億円）	21 循環器官用薬 （35 億円）	23 消化器官用薬 （32 億円）	11 中枢神経系用薬 （17 億円）

【後発医薬品 都道府県別】（→P.50~54）

	全国	最高	最低
処方せん 1 枚当たり後発医薬品薬剤料	625 円	890 円（岩手県）	496 円（佐賀県）
処方せん 1 枚当たり後発医薬品薬剤料の伸び率	+18.2%	+25.4%（鳥取県）	+9.3%（沖縄県）
後発医薬品割合（数量ベース）	28.9%	42.0%（沖縄県）	24.2%（秋田県）
後発医薬品割合（薬剤料ベース）	10.3%	13.9%（沖縄県）	7.9%（徳島県）
後発医薬品調剤率	53.1%	66.1%（沖縄県）	47.0%（東京都）

〔利用上の留意点〕

(1)分析対象レセプトの特徴

- 審査支払機関（社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会）において、レセプト電算処理システムで処理された調剤報酬明細書のデータを分析対象としている。
- 平成 24 年 10 月現在の電算処理割合は、処方せん枚数ベース、医療費ベースともに約 99%である。

(2)表章期間

- 平成 16 年 10 月調剤分からデータは収集しているが、伸び率の分析を主眼としているため、統計表上の表章期間は平成 17 年 10 月以降とした。